

施策評価調書(4年度実績)

					施策コード	Ⅱ-2-(3)	
政策体系	施策名	先端技術への挑戦～大分県版第4次産業革命“OITA4.0、”の推進～	所管部局名	商工観光労働部		長期総合計画頁	89
	政策名	活力と変革を創出する産業の振興	関係部局名	商工観光労働部、総務部、土木建築部			

【Ⅰ. 主な取り組み】

取組No.	①	②	③	④
取組項目	地域課題の解決に向けた先端技術の活用促進	先端技術を活用した産業振興	IT人材の確保と第4次産業革命に対応する人材育成	AI等を活用した行政手続きの効率化と県民サービスの向上
取組No.	⑤			
取組項目	革新的な情報通信基盤の整備			

【Ⅱ. 目標指標】

	指 標	関連する取組No.	基準値		4年度			6年度	目標達成度(%)				
			年度	基準値	目標値	実績値	達成度	目標値	25	50	75	100	125
i	IoT等のプロジェクト事業化件数(件)	①, ②	H26	-	17	17	100.0%	20					

【Ⅲ. 指標による評価】

評価	理 由 等							平均評価	
i	達成	令和4年度は、大分県IoT推進ラボでサービス業や製造業、防災など幅広い分野に対し13件のプロジェクトの認定を行った。内4件のプロジェクトへ補助支援を行い、事業化を進めた結果、他事業で推進したプロジェクトも合わせて、計17件の事業化を達成した。							達成

【IV. 指標以外の観点からの評価】

取組 No.	指標以外の観点からの評価
①	<ul style="list-style-type: none"> ・アバターの産業創出に向けた県内企業向けの勉強会「アバター産業創出塾」を中心に実証事業を実施。県内企業におけるアバターの導入検証が進むとともに、教育現場での活用も進んだ。 ・ドローン物流の社会実装では、地域課題の解決につながる先駆的な社会実装モデルの構築を進めることができた。
②	<ul style="list-style-type: none"> ・マッチングサイト「ドローンプラットフォームXCROSS(クロス)」によるドローンサービス提供を通じて地域課題の解決と産業振興が図られた。 ・宇宙ビジネス人材育成講座を通じ、県内企業等における宇宙産業への参入意欲を高めることができた。 ・衛星データ活用セミナーを2回開催し、データを活用した課題解決や付加価値創出への意欲を高めることができた。 ・ものづくり企業の経営層や現場リーダー等を対象に、デジタル化促進の研修を実施し、デジタル人材の育成を図った。 ・ICT建設機械の導入経費補助やICTセミナー・体験会の開催により、ICT活用工事に取り組む環境整備や人材育成を進めた。
③	<ul style="list-style-type: none"> ・小中学生向けプログラミング教室や高校生向けIT業界魅力発見出前授業等を実施し、若年層の先端技術等に対する興味・関心を高めた。 ・DX理解促進セミナーの開催、パートナーとの伴走による多様な業種のDXのモデル事例の創出・横展開を行い、県内企業の競争力を高めた。 ・民間の最先端の知見を持つ外部人材をDXアドバイザーとして委嘱し、専門的な視点や提言を施策等に反映させることができた。
④	<ul style="list-style-type: none"> ・県の定型作業や会議においてICTツールを積極的に活用し、職員の業務時間削減に寄与した。
⑤	<ul style="list-style-type: none"> ・定期点検等により、ネットワークの予防保守・安定稼働を図った。

【V. 施策を構成する主要事業】

取組 No.	事業名(4年度事業)	事務事業評価	
		成果指標の達成率(%)	掲載頁
①	アバター戦略推進加速化事業	109.1	216
	先端技術挑戦プロジェクト推進事業	118.2	216
	次世代モビリティサービス活用促進事業	100.0	217
	先端技術を活用した企業防災力向上事業	100.0	217
①②	ドローン産業振興事業	100.0	216
②	デジタルものづくり推進事業	120.0	217
	おおいたDX共創促進事業	100.0	218
	スペースポート推進事業	100.0	218
	衛星データ活用推進事業	158.8	218
	建設産業DX推進事業	117.4	219
③	おおいたDX推進事業	225.0	219
④	ICT活用業務効率化推進事業	85.7	219
⑤	豊の国ハイパーネットワーク運営管理事業	100.0	221

【VI. 施策に対する意見・提言】

○第8回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(R5.2)

・スペースポート推進事業について、イベント開催や人材育成も大事だが、次のステップとして、宇宙ビジネスを始めた会社、取り組んでいる会社への支援が必要。

○第8回「安心・活力・発展プラン2015」推進委員会(R5.2)

・ひとつのDXの取り組みが、他の部局の取組に広がって、より効果的に取組を推進できるようお願いしたい。

【VII. 総合評価と今後の施策展開について】

総合評価	施策展開の具体的内容
A	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の移動に関する課題に対し、交通事業者等と連携のうえ、実証から実装されるための体制を構築し、課題解決に向けた仕組みづくりに取り組む。 ・大分県IoT推進ラボのプロジェクト認定や先端技術を活用した地域課題解決型プロジェクトの創出により、県内企業の生産性向上や新たな価値の創出を目指す。 ・ドローンビジネスプラットフォームについて、多様なドローンサービスのマッチングに加え操縦士の人材シェアなど事業領域拡大に向けた取り組みを支援する。 ・宇宙港について、引き続きビジネス人材育成を行うとともに、国内外の宇宙関連企業とのネットワーク構築を拡大し、将来の人材育成を見据え、若者世代を対象にした大規模な宇宙教育関連イベントを実施する。 ・衛星データの活用可能性を周知するとともに、新たなビジネスアイデア創出の事業化に向けた支援に取り組む。 ・ICT建設機械の導入経費補助やICTセミナー・体験会の開催等により、ICT活用工事の普及拡大を進め、建設産業の生産性向上に向けた取り組みを推進する。 ・パートナーとの共創により県内企業等のDXを推進し、また人材育成とデジタルツールの実装をワンストップで支援しDXの第一歩であるデジタル化を後押しする。 ・人材育成を進めるとともに、ものづくり中小企業への伴走型支援や補助事業の活用を通じたデジタル化を促進し、生産性向上による競争力強化を図る。